

みんなの全断連短信(第155号)

平成23年4月1日創刊

(発行責任者) 伊藤 聡 (発行) 公益社団法人全日本断酒連盟 事務局

令和6年2月1日発行

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-2 ☎03-3863-1600

2024年度代議員選挙要項

今月は2年に一度の新代議員選挙があります。
選挙全体の手続きを改めて確認します。
詳細は12月5日付全断連事第05-110号にて依頼済。

① 選挙時期とスケジュール

- 1月 月末県連に選挙委員会設置
- 2月 1日 公示
- 2月 20日 推薦候補者・立候補者締切り
候補者を調整して個別信任投票用紙作成
- 2月 29日 個別新任投票用紙配布期限
- 3月 20日 個別信任投票用紙回収、集計
- 4月 20日 全断連に新代議員名簿提出

② 選挙方法

- 無記名式個別信任投票による。
- 投票用紙は全断連作成の用紙に従い作成し、全候補者名を列記する。
- 全断連から用紙フォーマットをデータで提供し、都道府県連で候補者名を入力することも可。
- 所属会員に投票用紙を1枚ずつ配布・回収する。
- 投票者は候補者毎に不信任の場合のみ、信任欄に(×)を記入。

信任の場合は記入不要。(○)が記入されている場合は信任と見做す。

- 候補者に対する不信任(×)が有効投票の50%未満であれば信任とする。
- 全断連は投票率には関知しないが、記録として投票用紙を保管すること。
投票用紙全数を回収する必要はない。
- 原則2年に1回実施。任期2年。補欠なし。
- 任期：選挙終了翌日から2年後の選挙終了時まで
- 各都道府県断酒会・連合会の代議員定数は投票用紙とともに全断連から通知。

(算出方法：令和1年10月1日現在の所属会員数÷5。端数切捨て)。

- なお、全断連は都道府県連内における地域断酒会への代議員数振り分け方法には関知しない
(5名未満の断酒会から代議員を選出してもよい。
都道府県連合会全体の枠内の問題とする)

③ 結果報告

- 選挙終了次第、前述の通り4月20日迄に都道府県連は新代議員名簿を全断連事務局に提出する。
- 信任投票用紙は都道府県連で整理し、全断連からの求めがあれば直ちに必要に応じ提出できるよう保管する。

④ 代議員一覧名簿の作成

- 代議員選挙終了後、全断連事務局にて、新規代議員名簿を作成し、各都道府県事務局に電磁配信

いたします。大切に保管願ひ、断酒会員からの閲覧の要望に備えてください。

今回より、経費削減のため「加盟断酒会・代議員一覧」名簿の発行はいたしません。

都道府県連主催行事報告

○京都府断酒連合会一泊研修会

12月9、10日新しい会場の京都市右京区妙心寺宿坊花園会館にて一泊研修会としては4年ぶりに開催した。12月とは思えないような暑い2日間でしたが、参加者の熱気でそれ以上に燃える熱い一泊研修会になった。

行政・医療・教育28、一般13、入院中の仲間30、断酒会262、総計333名

全断連助成金申請状況

○一泊・一日研修会家族参加補助金

- 横浜断酒新生会ふれあい一泊研修会 18,000円
- 京都府断酒連合会R5年度一泊研修会 90,000円
- 尾張ブロック断酒協議会一日体験談の集い 24,000円
- 高槻市断酒会一日研修会 46,500円

市民公開セミナー開催状況

★厚生労働省後援による啓発週間での啓発セミナー(前号続き)。(詳細はかがり火3月号参照)

①埼玉県断酒新生会家族会第2回研修会

11月19日埼玉県民活動総合センターで、全断連主催、埼玉県断酒新生会家族会主管、厚生労働省、埼玉県断酒新生会後援により開催。

- 講演：水澤都加佐氏(ヒーリング&リハビリインスティテュート所長)
「依存症者の回復と家族の回復」

参加者総数：96名

②埼玉県第8回市民公開セミナーinわらび

11月22日蕨市立文化ホールくるるで、全断連主催、蕨市保健センター共催、埼玉南部断酒新生会主管、厚生労働省、埼玉県精神保健福祉協会、埼玉県南部保健所後援により開催。参加者総数：64名

- 講演：今成知美氏(ASK代表)

「アルコール依存症と家族」

③岐阜県アルコール関連問題啓発市民公開セミナー

11月26日瑞浪市総合文化センターで、全断連主催、岐阜県断酒連合会主管、厚生労働省、岐阜県後援により開催。参加者総数：50名

- 講演：小林弘幸氏(大湫病院非常勤医師)

「回復からの霊的成長」

④埼玉県第10回市民公開セミナーin川口

11月26日川口市西公民館で、全断連、川口市保健所共催、埼玉南部断酒新生会主管、厚労省、埼玉県精神保健福祉協会後援により開催。参加者総数：69名
・講演：葦澤博一氏

(東京アルコール医療総合センター副センター長)
「アルコール問題を考えよう！」

SBIRTS 普及促進セミナーin 静岡

12月10日静岡県アーツ・コンベンション・センター グランシップで、オンライン併用によるハイブリッド方式を採用。日本医師会認定産業医生涯専門単位取得(会場参加)及び、日医生涯教育制度単位取得(リモート参加可)対象講座として開催。

【主催】(公社)全日本断酒連盟
【共催】静岡産業保健総合センター
静岡県精神保健福祉センター
【主管】(公社)静岡県断酒会
【後援】静岡県、浜松市、静岡県医師会、
静岡県精神科病院協会、静岡県精神保健福祉協会
【基調講演】和気浩三氏
(医療法人和気会新生会病院 院長・理事長)
「SBIRTS の活用と普及促進について」

【次第】

1. 内田勝久氏(静岡県精神保健福祉センター 所長)
2. 基調講演：和気先生
3. ワーク・ショップ：SBIRTS の実践
(医師)和気先生、(本人)木村竜治
(患者母)小泉京子氏、(断酒会員)小泉登資
(産業医)片又志仁(ナレーター)一杉茂樹
4. 体験談：石川英美氏(家族)
5. 各分野からの発表：
 - ①「厚労省依存症対策について」
林 藤孝(全断連理事 副理事長)
 - ②治療拠点機関医師の立場から
・古川愛造氏(医療法人十全会聖明病院院長)
 - ③行政機関の立場から
・浅野 輔氏(静岡県精神保健福祉センター)
6. シンポジウム：
「地域連携による依存症の早期発見・早期対応、
継続支援と SBIRTS の展開」
・和気浩三氏 コーディネーター
・古川愛造氏
・土屋泰夫氏(医療法人社団 進正会服部病院)
・鷹野恵理子氏(服部病院相談室 主任 SW)
・浅野 輔氏
・一杉茂樹(静岡県断酒会副理事長)
7. 閉会の言葉：町田 真氏
(静岡産業保健総合支援センター副所長)
8. 総合司会：木村竜治(静岡県断酒会)
【参加者】会場76、Web47名、総計123名
行政15、産業医41、医療18、
支援/相談/一般13、断酒会36

SBIRTS 普及促進セミナーin 徳島

12月3日徳島県立21世紀館で、オンライン併用によるハイブリッド方式を採用し、日本医師会認定産業医生涯専門単位取得対象講座として開催。

徳島県では2回目の開催である。

【主催】(公社)全日本断酒連盟
【共催】(一社)徳島県医師会
【主管】(特非)徳島県断酒会
【協賛】日本アルコール関連問題学会、(特非)アスク、
(公社)香川県断酒会、(特非)愛媛県断酒会、(特非)
高知県断酒連合会
【後援】徳島県、徳島市、(一社)徳島県精神科病院協会、
日本精神科看護協会徳島支部、徳島県精神保健福祉士協会
【基調講演】辻本土郎氏
(ひがし布施野田クリニック名誉院長)
「SBIRTS の活用と普及促進について」

【次第】

1. 開会の挨拶：
・大塚明廣氏(徳島県議会議員・徳島県医師会顧問・
徳島県断酒会顧問)
・新開弓子氏(徳島県保健福祉部健康づくり課長)
2. 基調講演：辻本土郎氏
3. ワーク・ショップ：SBIRTS の実践
(医師)辻本先生、(本人)大村謙二
(家族)大村三佐子氏、(断酒会員)藪内俊彦
(断酒会家族)島田佳代子、(ナレーター)川辺晶子氏
4. 体験談：藤原雄治、上原千代美氏
5. 事業説明：安永健吾(徳島県断酒会事務局長)
「厚労省依存症対策について」
6. シンポジウム：
「地域連携による依存症の早期発見・早期対応、
継続支援と SBIRTS の展開」
・辻本土郎氏 コーディネーター
・石元康仁氏(徳島県精神保健福祉センター所長)
・藤原稔章氏(日本精神科看護協会徳島支部)
・黒下良一氏(徳島県精神保健福祉士協会)
・板東千代喜(徳島県断酒会)
7. 閉会の言葉：原昇平(徳島県断酒会理事長)
8. 総合司会：横山隆男(徳島県断酒会)
【参加者】会場70名、Web34名、総計104名
(会場)行政8、医療9、講師5、一般10、断酒会38、
(Web)行政6、医療12、一般1、断酒会15、

全断連行事予定ー5月まで

- | | |
|---------|-----------------|
| 3/2、3 | 中部ブロック春季研修会(愛知) |
| 3/23 | 全断連第2回定例理事会 |
| 4/7 | 中国ブロック(広島)大会 |
| 4/14 | 四国ブロック(香川)大会 |
| 4/21 | 中部ブロック(静岡)大会 |
| 5/11~12 | 松村断酒学校(高知) |
| 5/19 | 北陸ブロック(富山)大会 |
| 5/26 | 東北ブロック(福島)大会 |